

2008年モーリンググループ  
福岡・長崎慰安旅行

日程: 6月5日(木)~7日(土)



## 6月5日から7日まで 福岡、長崎に慰安旅行へ行ってきました。

1日目は福岡から北原白秋で知られる柳川の水郷の風情や静かな城下町のたたずまいを味わうべく川下りをしました。夜は自由行動で、それぞれ中洲や屋台散策で楽しく過ごす事ができました。

2日目は長崎へ行き、グラバー園、大浦天主堂、出島を観光、そこで社長夫人からのサプライズがあり、実家(なかしま)にて鰻、さしみの盛り合わせ等の豪華な料理をご馳走になりました。夜は嬉野温泉に泊まり、久しぶりに社員揃って宴会をして盛り上がりました。

3日目はハウステンボス組と大川内山組(伊万里焼の里)の2班に分かれてそれぞれの時間を過ごしました。

幹事 西垣浩司

## 『東京にて』

社長 森 直樹



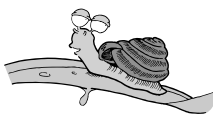
いよいよ夏を予感させる暑さになってきました。私の席の後ろには、数ヶ月前より弊社販売管理システムやWEBサイトのサーバーPC計4台が鎮座しており、窓が近いにもかかわらず「ぬるい」空気が流れております。この熱でお湯でも沸けば良いんですが。  
先日、東京へ行ったときのこと。普段は電車での移動中心ですが、たまたま車に乗る機会がありました。お台場から幕張、ディズニールランドといった湾岸線から見える景色は、名古屋ではまだ数棟しかないような高層マンションが建ち並ぶ都内を抜け、巨大な倉庫街、そして展示場や遊園地と、目まぐるしく景色が変わります。その物量たるや名古屋の10数倍はあるでしょう。(東京圏の人口は3,200万)まるで東京の一つの街が一つの地方都市のような感覚です。人が集まる↓仕事が集まる↓さらに人が集まるという循環を目の前の景色が何も言わずして伝わってきます。  
このように電車からではなく車、という普段とは違う視点で見ただけでこれほど東京への印象が変わるかと思うと、同様に生活の中でも視点を変えるだけで全く違うモノが見えてくるでしょう。何事も一つの視点だけではなく、高・低・遠・近、切り替えて眺めることにより新たな発見があると思います。  
東京オフィスは丸二年を越え、当初の2名の営業から事務2名が増えて現在4名です。5周年を迎えるころにはより広いオフィスへと移転を考える規模になる計算です。私もより涼しい、快適な環境に移転するべく「席替え」を画策中です。

naoki@morimatsu.net

2008年  
7月

の予定

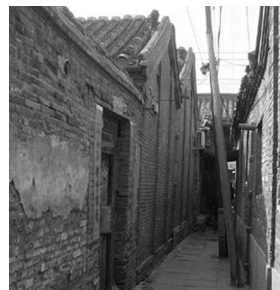
30日(水)	24日(木)	21日(月)	19日(土)	18日(金)	17日(木)	15日(火)	12日(土)	5日(土)	3日(木)
中文役員会	経営会議	海の日	第3土曜日休み	長崎修さん誕生日	カリフォルニア・ギフトショー見学とアメリカ力西海岸文具市場視察(森・牧野)	羽場昭三さん誕生日	第2土曜日休み	第1土曜日休み	黒松康郎さん誕生日
17時30分〜	15時30分〜	14時10分〜							



## 『中国の胡同 (こどう hùtòng) 四合院 (しごういん sìhéyuàn)』



解 昆 (製造部)

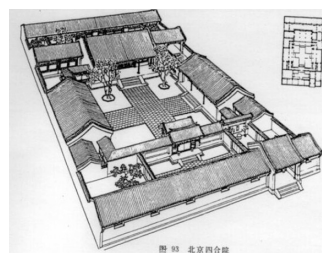


胡同是北京特有の古き良き路地のことです。北京には紫禁城を取り囲むように数千の胡同があり、北京特有の長方形の町並みを作り出しています。北京の胡同の歴史は元代にまでさかのぼります。その後一番多いときには6000もの胡同が存在しました。最も古いものは朝陽門内大街と東四の間の胡同で、整然と規格されており、胡同と胡同の間の距離はほぼすべて同じになっています。

南北に走る道は一般に街と呼ばれ、幅も広く、北京駅から朝陽門内大街の南小街と北小街などがこれに相当します。かつては馬車が走っていたことから馬路とも呼ばれています。東西に走る道が胡同で、道幅は狭く、もっぱら人が歩くのみに使われ、胡同の両側には四合院が建っています。

四合院是北京の伝統的な家屋建築です。四合院の中には東西南北に独立した家が建ち、それらが取り囲むようにした中庭が存在します。その規模や居住区分から、当時の権力や内部の地位の上下などがはっきりと分かります。

小四合院は中庭が一個のみで、南北にはそれぞれ3部屋ずつ、東西にはそれぞれ2部屋ずつあります。中四合院は内と外に1つずつ中庭があり、一番奥の正房には部屋が5つあります。大四合院は、現在も残されている



王府からその特徴を見ることが出来ます。まず、中庭がいくつもあり、長い朱色の廊下で建物同士が結ばれ、きれいな庭園も存在します。宮殿のような屋根を持ち、門の両側には木彫りの蓮の花が飾られ、これは垂花門と呼ばれています。家長が住む部屋を正房、その他の家族が住む場所を廂房と呼び、書斎や客間として使う場所は倒座と言います。



四合院は整然と並んでおり、その間を胡同が走っています。この四合院と胡同が北京独特の町並みを形作っていると言えるでしょう。現在は観光客用に自転車タクシー(輪タク)があり、これに乗りながら北京の有名な胡同を回り、北京の昔ながらの風景を楽しむことができます。

『ボーナスの時期に  
すいません』

黒松康郎 (東京オフィス)



みなさんも身近に感じるガソリンの価格が高くなっているのが目立ちますが、私たちの商売の関わりも値上げが激しく、非常に厳しい状況になっている気がする。というよりも「厳しくなっていく」と感じる。というところを書くとき暗くなってしまうが、もともと現実を感じてみましょう。プラスチック製品だけでなく、食品の価格も高騰簡単に考えても食品を運んだりするのも車を使う、魚を採るにしても船を使う。こんな高い燃料は使えない。石油の代わりに食品も使うという問題もある。そう、食品の賞味期限偽造にしても、期限が過ぎても特に問題がないものを処分しないといけない。その処分するにもエネルギー、費用が必要だからまた値上げ。値上げは食品以外も問題だ。私たち庶民はガソリンを使いたくないから遠出はしない、ツアー旅行なんかを申し込んだら訳のわからん燃料サーチャージというものがある。家にいるしかない、みんな家に居るから、車もいらない、物も売れない。ガソリンスタンドはつぶれる、コンビニもいらない、ゴルフ場もつぶれる。企業は石油価格を転嫁できない、業績が悪化、そしてリストラを断行しても景気悪化は激しく追いつかない、企業の人数はぎりぎりまで減つてしま、労働者の負担が大きくなるが規則が厳しく、どこかの空港会社みたいにパイロットが不足して、飛行機を欠航しないといけない。

ぎりぎりまで負担する労働者は病気になる会社に行けない。なんか人材派遣で人を確保しても人をすぐに入れ替える会社は、成長が見られない。会社は吸収合併があります。人がいない。会社をクビになり、パート、アルバイトで生計を立てようと考えて夜中にコンビニでアルバイトしようと思うと、今度は環境問題で24時間コンビニを開けておく必要があるのか、となり夜中働くことが閉ざされる。人はほとんどあまり、隣の大団に働く事を求めても大団も多分たいへんな状況になっている。

WEB上でくすぶっている、不満が杯のわけのわからない人間の監視も厳しくなり、持つて行く先がなく爆発する。そうなる社会不安にもなる。仕方がない、関西関東で同時大地震でも起こして建設業でも充実するのかもしれない。文章を書いていたら、宮城で大地震が起こりました。地震はやっぱり怖い。こんなときは初心に戻らないといけない、と無理やりこの文章を閉じるしかないかな。

『資格更新』

安井浩二 (企画営業部)



先日、ESDコーディネーター資格更新セミナーを受講してきました。資格取得後3年毎に更新し、内容は主にIEC規格(静電対策管理)の改正状況やESD対策技術の説明など。場所は東京大田区産業プラザ。当時、資格取得の受験した同じ会場で、セミナーの内容よりも、あの時の緊張感を思い出させてくれた感じでした。

そもそも、資格取得のきっかけは、5年程前に静電マントを異業種へ拡販していたのですが、商品説明はできたとしても相手は静電対策の専門用語を突込まれタタジ。また、弊社は業界では無名のため、イメージ信頼性にかけておりました。そんな中、今では得意先であるM社のF氏(資格取得者)より、この制度を教えてください「受けてみたら?」と。そんな無茶な!と思ったのですが、かえって素人の方が未経験のため受け入れやすいからと。その気にさせられ、タメもの気持ちでした。申込み後送ってきたのはテキスト冊のみ。それを開いた瞬間、未知の世界?習より慣れる!の気持ちでした。F氏より色々アドバイスを頂き、2ヶ月後に、ご受験会場へ。受験者は有名企業の人ばかりで「こりや場違いだな」といったことを思い出しました。結果的には、(本人は運のみと思っています)今では資格取得を販売ツールに、話がしやすくなりました。と言うより、こんなに相手の見方が変わるものか?といった感じでした。しかし、管理測定などについては現場実施をしていないので、資格者としてはペーパードライバーのようなものです。実際には実現場の人達に教えて頂いているのが現状です。

さて、この資格更新するには講習を受ければOKというわけではありません。(甘くない)この3年間でESD対策関連の実施した内容と専用知識のキーワードを含んだ文章(テキスト丸写しはダメ)の2項目をそれぞれA4用紙で2枚以上(3200字以上のレポート)提出して評価され、評価結果によっては再提出になります。(皆さんがこの原稿を読んでいる頃には結果が出ていると思います。)

『メタボリック  
予備軍』

岩間正美 (総務部)



タバコをやめて1年が経とうとしています。お腹まわりに脂肪がつきウエストが段々と大きくなっています。食べるものが美味しく感じられ、食べる量が増えてしまったかと思えます。間食はほとんどしません。運動もほとんどしていません。お腹に脂肪が蓄積されてきているのだと思います。これはやばいなと思いつつ、プールにも数度行きましたが続けることができず、休日に妻と市営のジムに行こうかとトレーニングウェアを買ったのですが、未だ実行していません。

メタボリック症候群と診断される、おへその高さの腹囲が男性で85cm以上になる前に何とかしなければと思うのですが、思うだけなかなか行動に移せずにいます。メタボリック症候群の主な原因は食べ過ぎと運動不足。それにより内臓脂肪が付き、必要以上の上の内臓脂肪が蓄積されると代謝の異常が生じることがあり、症状が進むと血液中のコレステロールや中性脂肪が必要以上に増えるなどし、動脈硬化の原因になるとのこと。先日の健康診断でコレステロールと中性脂肪の数値が高かったからマジやばい!

同時期にタバコをやめた3人のうち、Mさんは身長160cmで胴回り82cmになり臨月状態のお腹です。もともとコレステロールが高く薬を飲んでいるとのことですが、甘い物が大好きで間食もよくするが運動はほとんどしない。この人が一番あぶない状態にあります。とにかく3人のお腹はどんどん大きくなっています。おへその高さでメタボ予備軍に間違いはないと思います。食生活の改善や、運動を心がけて少しでも内臓脂肪を減らすように頑張りたいと思います。

『不便』

成瀬勝英 (配送部)



人間というものは実に不便なものだ。何をすることも道具無しでは暮らせない。食事は茶碗に箸。睡眠時は布団に枕。移動に使う自転車、車、船に飛行機、何より靴がある。最近では文字を読むにも眼鏡(老眼)まで要する。有れば気にもせず使っている。

何しろ自分が生まれる前から存在し、物心が付くか付かない頃からその使い方を教えられ、(箸の使い方、茶碗の持ち方、靴の履き方、鉛筆の持ち方)有る年齢になり資格が必要な道具も有るが、人と道具は切り離せない関係に有る事は確かだし、人間は変化を好む。必要最小限な道具では飽きたらず、常に便利さを求め、用途は同じでも他人とは違う事が心情である。

ゆえに道具となる製品向上の要求が絶えることは無い。人間が人間たらしめる事は、道具を使う事以前に欲求が有るのだ。高観を指す事が人間の本能(満足)だと思ふ。

最近テレビ等で環境問題(地球温暖化説)問われているが、人間が便利さを追求した結果が住みにくい地球環境を作り出している事は皮肉としかいいようが無い。

我が家で飼っている猫に聞いてみたいものだ、人間がどう見えるのか?羨ましく思うか?何か何の不便さも感じられず1日中食っちゃ寝(素っ裸)しているお前が、俺には非常に羨ましく見えるんだけど...

モーリンググループ社員旅行  
2008年  
in 福岡・長崎

【1日目】

柳川下り最大で15人ほど乗れる舟に、靴を脱いで乗りこんだら、約70分の舟旅がスタート。船頭さんは巧みに石橋の下をくぐり、熟練の技を披露してくれました。



【2日目】

出島・大浦天主堂・グラバー園を見学後、日本三大美肌の湯のひとつ嬉野温泉泊(宴会あり)



【3日目】

半日フリー (ハウステンボス・伊万里焼の里見学)  
伊万里組: マグカップや皿に絵付けの見学・体験をしました。  
ハウステンボス組: それぞれ自由に散策。中には昼食を摂るのを忘れて見学する人もいました。

